

松前町

No.92

2017年2月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

議会だより

12月定例会



2P～12月定例議会

議員提出議案、条例5件ほか補正予算 可決

6P～委員会ニュース

松前町税条例の一部を改正する条例 ほか

10P～

一般
質問

- ・ 随意契約と入札選定方法は
- ・ 小・中学校へのタブレット導入は
- ・ 北伊予自由通路に係る協議書及び負担金は
- ・ 危険な歩道の整備状況は
- ・ 高齢ドライバーの事故防止対策は
- ・ がん検診の受診率向上方策は
- ・ 女性会議の意見は活用されているのか

18P～耳より情報

どんなしめ縄ができるかいなー（北公民館 寿大学にて）

こんなことが決まりました

12月定例議会は、12月6日から14日間の会期で開かれました。
審議内容の主なものは以下のとおりです。

(特に本会議場で議論になった項目を中心に明記しています)

★平成28年度12月補正予算

一般会計 **2710**万円 増額

特別会計 **2636**万**9**千円 増額

条例5件、予算関係6件、他議決を求めるもの5件、合わせて16件の議案が提出され、各常任委員会に付託。

本議会場においても十分な議論を経て、全案件を全会一致または賛成多数で可決した。

(詳細はP9に)

★請願1件

請願1件文教厚生常任委員会に付託。

十分な議論を行い本会議において、反対多数で不採択に決した。

(詳細はP7に)

★議員提出議案1件

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書。

審議の結果、全員一致で可決。

(詳細はP3に)

★情報セキュリティ機器買入れで、特に価格で議論

⑥5

情報セキュリティ強化対策機器

(動産の買入れ)

契約金額

4552万3080円

契約業者

株式会社四電工

愛媛支店

問 買入れ価格が高いが理由は

理由は

ハードとソフトの部分でセキュリティ対策とマイナンバー対応の部分で費用がかかる。

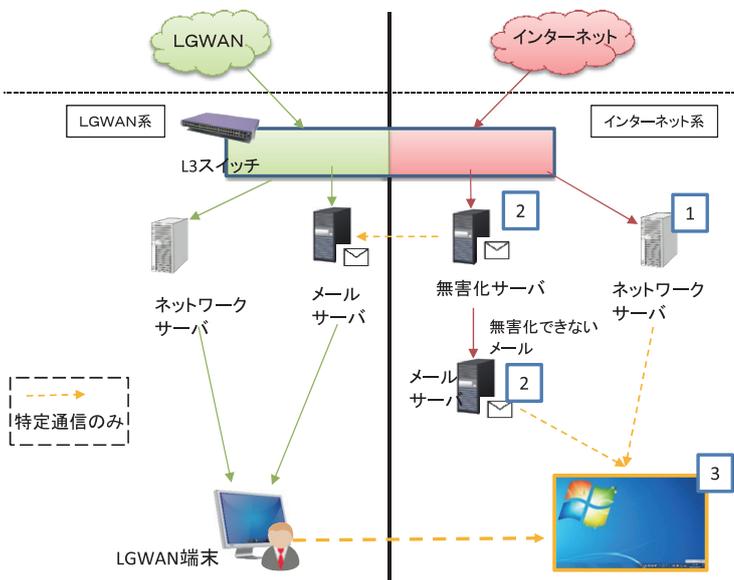
賛成多数で可決

問 買入れではなくリースにできなかった理由は

国から補助金を受けるため。

答

国から補助金を受けるため。



サーバ側に仮想デスクトップ(Windows)を100台構築し、LGWAN端末からリモート接続により、インターネット用端末として使用

全てのソフトが編集可能

今回、購入部分

12月定例会

12/6~12/19

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

問 全国的に地方議会議員のなり手が少ないという実態。松前町においても前回の議員選挙では町始まって以来、初の無投票となった。意見書の趣旨は十分理解できる。しかし、厚生年金制度は、保険料を労使で折半、町でいえば公費で半分負担となるがどう考えるか。

議員提出議案第1号

★幅広い政治参加や人材確保の観点から厚生年金加入のための法整備を

答 議員年金制度に加入

するためには、法律の改正が必要となる。改正されれば制度として確立され、本人の意思にかかわらず厚生年金制度への加入となる。そうなれば市町村判断によることなく、国の地方交付税で措置される予定。

問 12年以上議員をした

場合年金が出る制度が平成23年に財政面の理由により廃止された。今回、年金制度が復すれば、同様の問題が持ち上がると思うが、どう考えるか。

答 全国的に行われた市

町村の合併による議員数の減、議員定数の削減や報酬の減額により、年金の原資がなくな

なった。

具体的には平成10年全国の町村議員数は4万人、平成26年には1万1千人と激減した。現在の状況は議員数が極端に変化するとは考えられないため議員個人の掛け金と負担金で財政運営が出来る制度になっている。

問 厚生年金加入で1人

当たり、どの位の負担になるか。

答 本人負担が月に3万

5千円位で公費も同じ金額負担。70歳未満の加入で現在の全議員で年間400万位の負担になる。

(全員一致で可決)

福岡県みやこ町議会広報特別委員会の皆さんが、視察研修に。

★11月8日、予定の時刻より早めの到着

で、とても学習意欲を感じる皆さんだった。

訪問を受ける私たちも、事前に質問内容のチェックをしていたが町の紹介や広報全般についてもパワーポイントにて説明。

★伝わる広報にするためのポイントを示し、具体例や写真も表示。

- ・読みやすくするための文章構成
- ・注目してもらえそうな写真
- ・見やすいページレイアウト

★2時間半にわたる研修だったが、終始熱心に質問や意見交換ができ、今後の皆さんの健闘を期待している。



研修風景

議会基本条例の作業部会より 中間報告書を全議員に配布

平成28年度から始まった議会基本条例の検討会、昨年9月末に条例案を、昨年9月末に条例案を、

提出。

の具体化や議会活性化の方策を研究する作業部会に、議員全員にその内容に改名し、検討を続けた。を書面にて配布した。

議員の報告書に対する意見を書面にていただいた。その意見を作業部会で更に検討し、より納得のできる基本条例になるように議論し、最終報告ができるように進めていく予定だ。

会計補正予算

委員会 ニュース

道路橋りよう維持費および 事業の委託料をより明確に！

問 道路橋りよう維持費の設計委託料の財源は。

答 入札により国庫補助対象の工事請負費に生じた予算残額830万円と国庫補助対象の橋りよう定期点検委託料の予算残額を合わせて、橋りようの修繕に対する設計委託料に充当する。よって、国庫補助金の変更はない。

意見

工事費から委託料への科目の組み換えは、予算書に現れる。しかし、委託料の予算残額を、違う事業の委託料に使う場合は、

科目が同じであるため予算書には現れない。

また、参考資料の主要事業の概要にも示されておらず、質疑しなければ、総事業費、財源は分からなかった。審査に必要な書類は提示し、説明すべきである。

改善内容

今後は、使途を特定した事業の予算残額により新たな事業を実施する場合は、その事業の全体像、財源が分かる資料を添付する。



橋りようの設計を
予定している箇所

問 ひとり親家庭医療費が増額した理由は。

答 平成28年度は平成27年度と比べ、受診件数が569件と大幅に増加しているため。

問 乳幼児・児童医療費助成の指定養育医療の実施機関は。

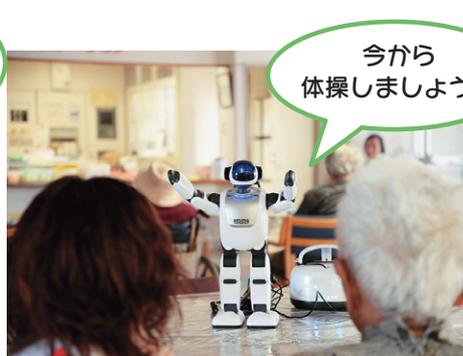
答 県立中央病院と日本赤十字病院である。



平成28年度 一般・特別

問 介護ロボット導入促進事業補助金の申請状況は。
また、現在の介護ロボット導入台数は。

答 今回、新たに1事業者が介護ロボットを1台導入するための予算である。
町内では、3事業者で3台の介護ロボットを導入することになった。



平成28年度 一般会計補正予算概要

■予算総額

(単位：円)

区 分	補正前	補正額	補正後	増減率
本 年 度	105億9679万	2710万	106億2389万	0.3%
前 年 度	97億6225万	9225万	98億5450万	0.9%

■松前町一般会計補正予算（第3号）主要事業

(単位：円)

科 目	項 目	金 額
総 務 費	コミュニティ対策事業	95万
民 生 費	介護ロボット導入促進事業	81万
	ひとり親家庭医療費助成事業	376万
	乳幼児・児童医療費助成事業	288万
農 林 水 産 業 費	農地集積推進事業	29万
	国土調査事業	3377万
土 木 費	県営事業負担金（道路）事業	70万
	県営事業負担金（港湾）事業	386万

委員会 ニュース

総務産業建設

二重課税回避等の租税取り 決めにより松前町税条例も 一部改正に

⑥1 松前町税条例の一部
を改正する条例

要旨

国が台湾に対する二重課税等を回避するために租税取り決めをした法律を改正。

「所得税法の一部を改正する法律」及び「外国居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税等に関する法律」の一部が改正されたことにより松前町税条例の一部を改正する。
(全会一致で可決)

⑥2 松前町国民健康保険
税条例の一部を改正す
る条例

要旨

上記と同様の理由により、松前町国民健康保険税条例の一部を改正するもの。
(全会一致で可決)

要旨

⑥7 伊予市外二町共有物
組合同約の変更

旧大洲藩に属する伊予市内に、凶作への対策として穀物を蓄えるための用地があり、これを管理・運営するために組合が設立された。

組合の構成団体である砥部町の区域に誤りがあることがわかり、当該組合の規約変更について地方自治法第290条により、議会の議決を求めるもの。
(全会一致で可決)

四国地区町村議会議長会研修会に参加

●10月13日、高松市レグザムホームで四国内の議長会研修に議員全員で参加した。

★演題「人口減少と地方議会のあり方」

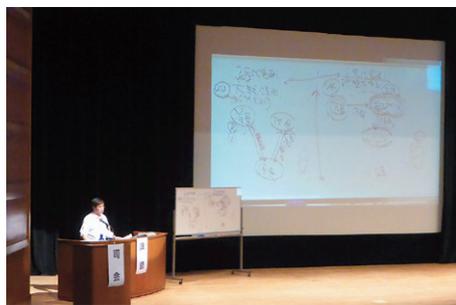
講師 昇秀樹氏(名城大学都市情報学部教授)

- ・政府の試算した人口減少率をはるかに超える勢いで、超高齢化社会を迎えた日本において今、活用を求めるものは、女性、若者、外国人だ。
- ・女性が出産、子育てしやすい環境づくりを。高齢者が生きがいを持って暮らせ、外国人労働者や若者の雇用も確保できるまちづくりを。
- ・そのために地方自らが元気になる地方創生が叫ばれて、各自治体の手腕が問われている。
- ・同時に議会も活性化を進め、議員どうしの政策議論が活発化して人口流出を防ぎ、東京一極集中

化に歯止めをかける。
・その大きな変化に地方議会がどう対応し、協働できるかが鍵となってくる。

として『パリ協定』が出された。
・これは主要排出国を含むすべての国が削減目標を5年ごとに提出更新して今世紀末には、排出ゼロを目標とするものである。

・今後の低炭素な町づくりを考える時、日本の再生エネルギーは太陽光発電に優位性がある。
・ただ原子力発電は議論も多いが、これを抜きに供給が難しい現実もある。



★演題「もう一度考える地球温暖化とエネルギー問題」

講師 松本真由美氏
(東京大学教養学部准教授)

・地球温暖化対策として打ち出された京都議定書は、先進国みみのCO2削減策だったが、2020年以降の新たな枠組み



文教厚生

事業完了のため所有者に土地を返還することに

⑥⑥ 財産の譲与について

要旨

地域改善対策事業によ

り松前町が徳丸地区生産

組合の農業用倉庫を徳丸

地区の土地に建築してい

たが、事業が完了したた

め農地に戻して返還しな

ければならなくなった。

土地所有者と協議し、

撤去費用の削減につな

るので、財産を譲与する

ために議会の議決を求め

るもの。

問 譲与により土地所有

者に固定資産税の支払

義務が生じるが、説明

したか。

答 土地所有者には説明

済みだ。

(全会一致で可決)



土地を返すときに譲与する建物

請願第5号
安全・安心の医療・
介護の実現と夜勤
交代制労働の改善
を求める請願

◎ 請願者

愛媛県医療労働組合

連合会

松本由美子

自治労連愛媛県本部

医療介護評議会

濱田公男

紹介議員 金澤 浩

主旨

厚生労働省が医

療従事者の勤務環境改善

の取組について通知をし

ているが効果が十分でな

いため実効性のあるもの

にし、安全・安心の医療・

介護の実現を求める。

審査

※医療従事者の労働環境

の改善は重要だが、その

財源は最終的に国民の負

担となる。そのため、各

都道府県で策定している

地域医療構想に基づく対

策を進めていくべきだ。

◎ 国も医療従事者の労働

環境について深刻にとら

えており、労働環境改善

のための基金を創設する

などの取組を進めてい

る。

★一方、労働環境が原因

となる医療従事者の離職

を防ぎ、国民が安心して

医療を受けるためには、

更なる取組の拡大が必要

だとの意見があった。

★高齢化社会に向かう今

こそ、国に財政出動を請

願し、医療従事者を増や

すべき。

★今の経済はデフレ。

需要不足なので政府の

財政支出で需要不足を補

うべき時期だ。医療従事

者を増やせば、需要不足

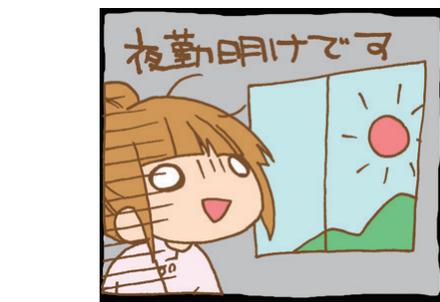
解消に向かう。

★この仮説で需要不足を

埋めると、デフレ脱却で

きる。

日本は負債も多いが、



補正予算

(補正予算案の内、左の

予算以外は、予算決算常

任委員会で審議)

⑦② 平成28年度松前町公

共下水道事業特別会計

補正予算

補正額

222千円

補正後の額

6億97329千円

(全会一致で可決)

⑦③ 平成28年度水道事業

会計補正予算(第1号)

(収益的支出)

補正額

△436千円

補正後の額

4億45125千円

(資本的支出)

補正額

29千円

補正後の額

3億39128千円

(職員給与費)

補正額

△757千円

補正後の額

51182千円

(全会一致で可決)

条例の一部改正

⑤8 松前町職員の給与に
関する条例の一部を改
正する条例

人事院勧告及び愛媛
県人事委員会の勧告に
伴い改正

平均給与改定率0.21%

勤勉手当0.1月分上げ

扶養手当（段階的に実
施）

配偶者1万3千円

← 6千5百円

子 6千5百円

← 1万円

（全員一致で可決）

⑤9 58号同様に松前町特
別職の給与に関する条
例の一部を改正する条例

人事院勧告及び愛媛

県人事委員会の勧告に

伴い改正

期末手当

← 改定前12月1・65

←

改定後12月1・75

（全員一致で可決）

⑥0 松前町議会議員の議
員報酬及び費用弁償に
関する条例の一部を改
正する条例

人事院勧告及び愛媛

県人事委員会の勧告に

伴い改正

期末手当議案第59号

と同じ

（全員一致で可決）

その他

⑥3 松前・宗意原統合保

育所新築建設主体工事

請負契約の締結

施工場所

大字北黒田187番

地4

入札日

平成28年11月14日

契約の金額

3億4884万円

工期

議決の翌日から平成

29年8月31日

請負業者

共立建設株式会社

四国支店

（全員一致で可決）



⑥4 松前・宗意原統合保

育所新築機械設備工事

請負契約の締結

施工場所・入札日・工

期63号と同じ

契約の金額

1億123万円

請負業者

三和ダイヤ工業株式

会社

（全員一致で可決）

臨時議会
平成29年1月11日

入札日

平成28年12月19日

契約の金額

5583万6千円

工期

議決の翌日から平成29

年8月31日

請負業者

東海電設株式会社

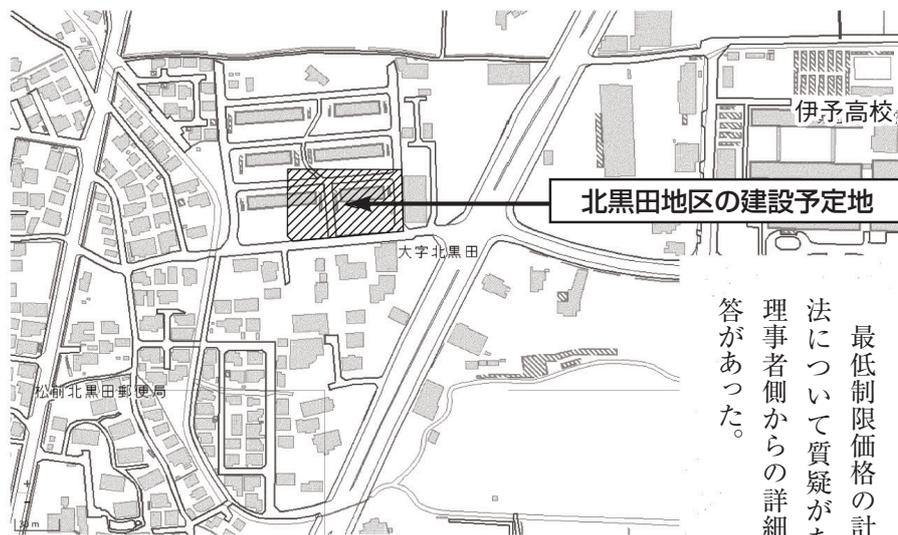
松山営業所

問 変動型入札最低価格
の算定方法は
答 入札算定要綱に基づ
き行っている。
（全会一致で可決）

① 松前・宗意原統合保
育所新築電気設備工事
請負契約の締結

施工場所

4 大字北黒田187番地



最低制限価格の計算方
法について質疑があり、
理事者側からの詳細な回
答があった。

保育所位置図・横面図





12月定例議会

提出議案等への各議員 賛否表

※ ○賛成 ●反対 △議長

議員名		住田	田中	金澤	影岡	稲田	城村	村井	藤岡	加藤	八束	岡井	早瀬	三好	伊賀上	
		英次	周作	浩	俊範	輝宏	トキ子	慶太郎	緑	博徳	正	馨一郎	武臣	勝利	明治	
請願・議案番号・議案名など																
提1	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	
請5	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める請願書	不採択	●	○	○	●	●	●	○	●	○	●	△	●	欠	●
58	松前町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	
59	松前町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	
60	松前町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	
61	松前町税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	欠	○	
62	松前町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	欠	○	
63	松前・宗意原統合保育所新築建築主体工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	
64	松前・宗意原統合保育所新築機械設備工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	
65	動産の買入れについて	可決	○	●	●	○	○	○	●	○	●	○	△	○	○	○
66	財産の譲与について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	欠	○
67	伊予市外二町共有物組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	欠	○
68	平成28年度松前町一般会計補正予算（第3号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	欠	○
69	平成28年度松前町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	欠	○
70	平成28年度松前町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	欠	○
71	平成28年度松前町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	欠	○
72	平成28年度松前町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
73	平成28年度松前町水道事業会計補正予算（第1号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○

7 議員が登壇

◆赤字項目は、本文で紹介しています。



三好 勝利 議員 (11ページ)

- ◆随意契約が多い理由と入札選定方法は
- ◆松前漁協・四国珍味商工協同組合の活性化計画は
- ◆義農神社の今後と海岸部の防災対応策は
- ◆職員採用試験について

村井慶太郎 議員 (12ページ)

- ◆小・中学校へのタブレット導入は
- ◆松前公園への健康遊具設置は
- ◆庁舎内のウォシュレットトイレ設置は
- ◆庁舎の新たな駐車場設置は
- ◆新たな観光スポットを
- ◆道路管理体制の徹底を
- ◆職員の自転車ヘルメットの着用は

加藤 博徳 議員 (13ページ)

- ◆北伊予自由通路に係る協議書及び負担金は
- ◆北伊予駅自由通路における環境影響評価は
- ◆職員採用基準および人件費

住田 英次 議員 (14ページ)

- ◆危険な歩道の整備状況は
- ◆町内の公共施設耐震化の推進状況は
- ◆防災無線の活用を

藤岡 緑 議員 (15ページ)

- ◆高齢ドライバーの事故防止対策は
- ◆学校施設における洋式トイレ化の動きは
- ◆子育て手続き「マイナポータル」の準備は

影岡 俊範 議員 (16ページ)

- ◆義務教育の基礎学力向上への取り組みは
- ◆乳がん検診の受診率向上方策は
- ◆観光施策は

金澤 浩 議員 (17ページ)

- ◆女性会議の意見は活用されているか
- ◆災害時の備えは万全か
- ◆教育の町宣言による町づくりの考えは

一般質問とは・

- 議員が町の行政全般について質問し、町長や部長などが答弁するものです。
- 議員一人あたりの発言時間は45分以内です。
- 登壇は、通告書(質問内容を要約した書類)の提出順に行なわれます。
- 議会の会議録が庁舎1階ロビーの情報公開コーナーにあります。詳しい内容がご覧いただけます。(12月議会分は2月末から)



義農神社の今後は



三好 勝利 議員

随意契約金額が9億と多いがなぜか、入札選定方法は

他の業者で出来ない事業の場合は特命、他は町内業者優先

問

- ① 随意契約の条件と方法は、
- ② 入札、選定方法は、
- ③ 地域活性化計画で、各大字地区からの要望事項はどう決定されているのか。
- 町長・副町長・財政技監**
- ① 特命随意契約と随意契約があり、他の業者ではその業務が出来ないため
- ② 来年度から新方式の最低制限価格にして公平に業者選定を行う。入札参加資格審査時に町内業者か準町内業者申請書の提出を受け、入札参加業者
- ③ 毎年8月頃、各大字区長より地域要望を、取りまとめ、松前町土木事業整備優先順位基準により、緊急性、必要性、地元の合意形成、整備の効果などを評価し、町長が決定する。
- 1人に見積書を提出させ契約する。町長になって改善したが、特命随意契約が残り、額も増加している。
- 資格審査規定により、入札参加業者選考委員会で決定する。

松前漁協・四国珍味商工協同組合の活性化策は

事業資金の支援や組合と連携し、活性化に取り組む

問

- ① 松前漁協・四国珍味商工協同組合の今後の活性化策は、
- ② 義農神社の今後の施策は、
- ③ 地域防災計画で松前・岡田地区の海岸部での避難策は
- 町長・産業・総務課**
- ① 漁協の、漁業経営の安定化、活性化を図るため、
- ② 義農精神を後世に伝える守っていく必要がある。
- ③ 津波の場合、松前、岡田校区沿岸部から国道56号までを浸水想定している。全戸配布の防災マップを参考に、避難経路の確認を。
- 事業に対し2分の1の補助などの支援をしている。
- 珍味商工協同組合に対して、県内外のイベントに出展し、町の主力産業である珍味のアピールと販路拡大を連携して実施していく。
- 町が公費で同神社の管理や改修は、憲法上できないがこれを維持する団体を町長個人として立ち上げたい。



子ども達の遊具は充実しているのだが・・・



村井 慶太郎 議員

小・中学校へのタブレットの導入は

今後は、財政状況を見ながら検討していく

問

国は、2020年までに小・中学校の生徒ひとりに、タブレットを1台整備する目標を掲げているが、教育の町としての本町の見解は。

国は、2020年までには、文部科学省の諮問機関である2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会の中でも、ICT環境やICT教材のあり方について議論されている。

町としては、国の動向を注視しながら、今後、活用方法の研究や財政状況を踏まえ、整備について検討していく。

※ICTとは、**情報通信技術**のこと

高齢者の健康づくり支援の取組は

松前公園への健康器具の設置を検討

問

松前公園を多くの高齢者が利用している。しかし健康器具が1つも設置されていない。健康への関心も高まり、高齢者がいつまでも健康であるための健康づくりは大変重要だと考えるが、松前公園へ健康器具の設置の考えは。

松前公園を多くの高齢者が利用している。利用者からは、高齢者向けの健康遊具を設置してほしいという声は聞けない。しかし、健康遊具は高齢者だけでなく、町民の皆様の健康づくりへの有効な手だての一つと考えられる。

松前公園は、コース周辺のスペースに限りがあるため、多くの器具の設置はできない。ウォーキングやジョギングなどの準備運動や整理運動に活用できる器具を選び、その効果を見きわめた上で、数台に限定して設置について検討したい。



自由通路完成が待たれる、JR北伊予駅



加藤 博徳 議員

北伊予自由通路は誰が起案し、誰が締結印を

当時の町長が判断し、副町長の代決により押印

問

①北伊予自由通路はなぜ当初の西口からの通路要望を変更し誰が起案しJRとの協議書に議会の議決前に締結印を誰が押印したか。

まちづくり課長、町長
西からの出入りが無理とわかったので現橋の継ぎ足し案を県から提案され、協議の結果現在の自由通路に当時の町長が判断した。

JRとの締結印は、JRとの協議文書にあり、平成25年7月24日付けは副町長の代決により押印した。
契約を締結するものではない。

北伊予自由通路に係る周辺事業の負担金は

町の負担はあるが、JR四国や地元の負担なし

問

①町の負担する総工事費、JR四国の負担は。

まちづくり課長、町長
①北伊予自由通路の総工事費は、4億820万7千円。JR四国の負担金はなし。

③伊予駅自由通路の年間維持管理費は、エレベーターの保守管理、点検に191万6千円、電気使用料29万5千円で計221万千円を見込んでおり町が支払う。

②鶴吉地区で実施している水路事業や町道東170号線の総工事費及び地元負担金は。

②水路改修工事4件で総工事費2億4993万4978円、地元の負担金はなし。

④車両基地貨物駅ができると60本余りの列車の通行量となるため、現在の1.5倍程度の遮断時間の増加となる。

③自由通路の保守点検を含む年間維持費と負担先は。

町道東170号線の総事業費は、2億2418万6601円で地元の負担金はなし。

④踏切の遮断時間は。



住田 英次 議員



老朽化の著しい松前中学校北校舎と松前ホッケー公園体育館

町内の危険な歩道の整備状況は

歩道整備の必要な4ヶ所の内、3ヶ所はすでに整備に着手

問

町外では通学路における子供への自動車事故が後を絶たない。町内の歩道の整備状況は。また、工事中の浜交差点は十分な歩道の確保ができていますか。

産業建設部長

町外では通学路における子供への自動車事故が後を絶たない。町内の歩道の整備状況は。また、工事中の浜交差点は十分な歩道の確保ができていますか。

産業建設部長
継続的な通学路の安全確保に取り組むため平成28年3月に策定した松前町通学路交通安全プログラムに基づき通学路の安全点検を実施した。その結果、整備が必要とされる所が4ヶ所ある。内2ヶ所は町道であり、すでに歩道整備に着手している。他の2ヶ所は県道の浜交差点と永田交差点であり、浜交差点は平成31年度の完成予定である。永田交差点については県で抜本的な改良を検討している。

町内の公共施設の耐震化の進捗状況は

松前中学校の校舎と松前ホッケー公園体育館はできていない

問

町内の指定避難場所となっている公共施設の耐震化の進捗状況は。また、耐震補強のできていない松前中学校の校舎の建て替えの予定は。

教育委員会事務局長

町内の指定避難場所となっている公共施設の耐震化は、9ヶ所の内、松前中学校の校舎と松前ホッケー公園体育館以外は完了している。松前中学校の北校舎については耐震補強が必要であるが、南・北校舎とも築60年を経過しており、ともに建て替える必要が適切と考えている。厳しい財政状況の中、早期の整備を目指して現在、交付金等の有利な財源の確保に向けて継続して調査研究している。

運転経歴証明書は、多くの機関等で、**公的な身分証明書として生涯使うこともできます**（平成24年4月1日以降に発行されたものに限る）。運転免許証を自主返納された方なら、取消し後5年以内であれば、申請により交付することができます。



詳しくは、下記までお問い合わせください

☆運転免許センター（電話）089-934-0110
☆最寄りの警察署 交通課

一生
使える！

運転免許証にかわる
身分証明書となります



愛媛県警察



藤岡 緑 議員

高齢ドライバーの事故防止に向けて対策は

広報啓発から運転免許自主返納支援も検討

問

高齢ドライバーの重大事故が増加する中、運転免許自主返納は、さほど進んでいない。その後の生活支援など、町としての対策は。

保健福祉部長

町としては、関係機関と連携して交通安全教育や啓発活動、各種イベント時にシミュレーターでの体験学習などで免許証返納促進も実施。自主返納支援事業所の情報を広報紙に載せ、更にバックアップの方法はないか、検討中だ。

小・中学校のトイレの洋式化率は

全国平均の43・3%より進んでる

問

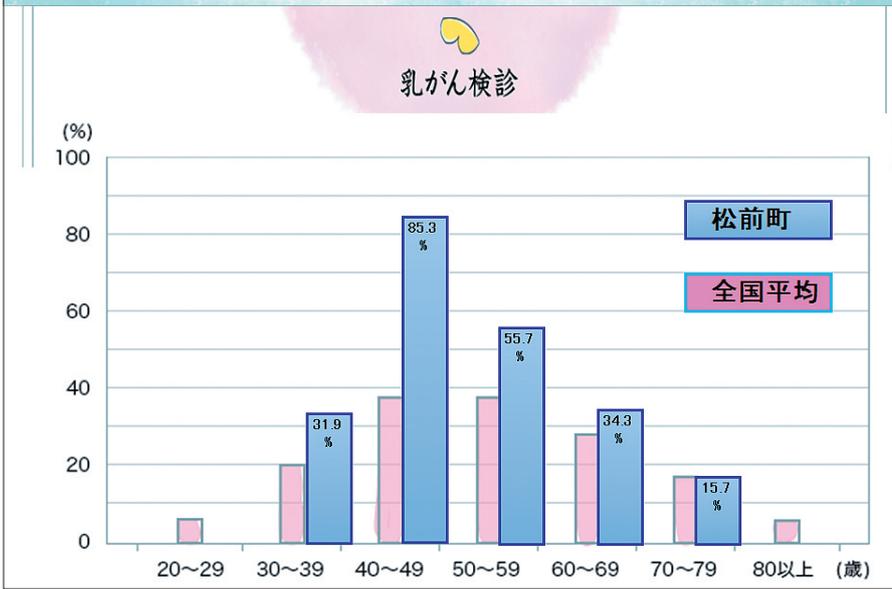
災害時には避難所となる小・中学校のトイレは、高齢者にもやさしい洋式化が望まれるが、町の考えは。

学校教育課長

内訳は、小学校66・1%、中学校が48・7%で、県果、平成28年4月1日現在で町内小・中学校のトイレ洋式化率は59・6%だ。

日本のがん検診データ

厚生労働省の「平成25年国民生活基礎調査」によると、
各がん検診の受診率は下のグラフのようになっています。



厚生省データ表示に松前町のデータを書き加えたものです。



影岡 俊範 議員

教育現場の工夫意見を、行政と保護者一体で支援する「教育の町」へ

時間を生み出し工夫を重ねて、一人一人の子供のために尽力する姿勢を堅持

問

- ① 児童学力向上のための教育現場の取組は、2つに分けて行う少人数指導を実施。理解できにくい、意欲を持ちにくい児童には、生徒に応じた学習を提供する特別な時間を設ける。確かな基礎学力を定着させる配慮をして、子供や保護者からも好評を得ている。
- ② 町教育委員会で児童生徒の学習達成度調査を行い、各学校の子供の理解度を把握や授業改善に活用している。
- ③ 学校の教員数は定数が決められており、施策による加配数を県教育委員会に申請し増員を図っている。
- ④ ふるさと納税は使途が制限されており、今後の参考とさせてもらいたい。

教育長

- ① 児童の学力向上は、日々の授業でなされるべきだ。きめ細かな授業のため、2人の先生で行うチーム

乳がん検診の受診は、町民の健康・予防医療・子育て支援に

早期発見・診断・治療のためすべての受診を勧める

問

- ① ガン検診で、当町独自の乳がん検診について。
- ② 年齢別の受診率は、健康課長
- ③ 周知方法とコール・リコールは、
- ④ 上記グラフ参照。

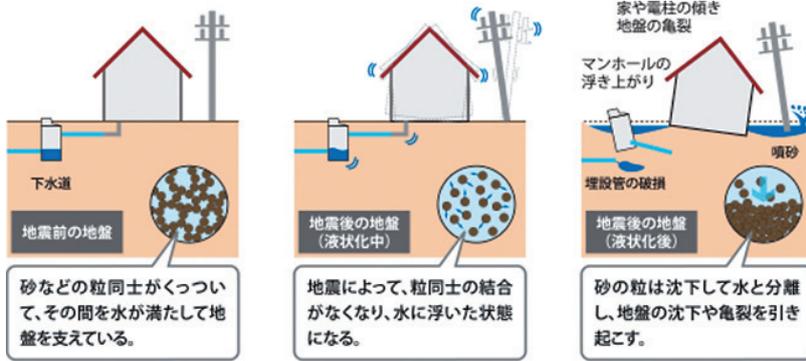
- ① 国の指針では、乳がん検診の基準は40歳以上で原則X線による2年に1回の受診を実施。30代に対しては近隣市町に先駆けて平成24年度から超音波検診を実施している。
- ② 松前町の若年世代は非常に高い受診率となっている。
- ③ 保育所・幼稚園・伊予医師会を通じ受診勧奨を行い、未受診の方にはコール・リコールを実施、受診率向上に努めている。

地盤が液状化する？

液状化現象とは、地震が発生した際に地盤が液体状になる現象のことです。

液状化は、主に同じ成分や同じ大きさの砂からなる土が、地下水で満たされている場合に発生しやすいといわれています。そのような砂でできた地盤は砂の粒子が結びついて支えあっていますが、地震発生で繰り返される振動により、地中の地下水の圧力が高くなり、砂の粒子の結びつきがバラバラとなって地下水に浮いたような状態になります。これが液状化です。

このような状態となると、水よりも比重が重い建物が沈んだり、傾いたりします。水の比重よりも軽い下水道のマンホールなどが浮き上がる場合があります。



東京都「建物における液状化対策ポータルサイト」より



金澤 浩 議員

子育てしやすいまちづくりは

まちづくり女性会議の意見を担当部署で検討中

問

まちづくり女性会議で得た貴重な意見に対し、どう対応するのか。

副町長

定。

- ①これまでの成果は。
- ②具現化のために何をやるのか。
- ③今後のビジョン（将来像）は。

①会議の意見を担当部署で検討し、早いうちに結果を町ホームページで公表予定。
②意見の優先順位に従い情報発信、街頭設置、公園等の遊具充実を行う。
③意見を取りまとめ中であり、具体的な内容は未

★松前町に移住しようと考えてもらえるような、町の具体的な将来像を町内外に示した上で、具現化のための施策を考えるべきだ。他市町村のように（どんな町にしたいのか）を明確に。

災害時の備えは万全か

食糧備蓄・避難計画は住民の自助が基本という考えだ

問

- ①避難所の食糧備蓄は。また、スーパー等と非常時食糧提供の協定は。
- ②原子力発電所事故時の避難計画策定と広報計画は。
- ③地盤・液状化発生時の避難計画等は。

総務部長

①今は約千食。4年間で1万2千食まで増やす計画だが、自助による個人の備蓄が基本。町民は各自7日分の備蓄を。

★ムページ、各自防災組織等に広報予定。
③液状化に対応する避難計画は、策定しないこととしている。

また、食品業者と有償での応援協定を締結。
②予定どおり12月中に決定し、広報まさき、ホー

★専門家に依頼して、検討・対策すべき。想定外があつてはならない。



耳より情報

★これまでの議会に寄せられた様々なご意見や疑問点など特に今話題になっていることなどを取上げてお答えする形でご報告します。

●『政務活動費』って？

- 地方議会の議員に政策調査研究等の活動のために支給される費用。
政務活動費として導入が進んでいる。
松前町議会は導入していない。

●今、なぜ話題になっているのか。

議会の会派又は議員に対して支給されるが交付額や交付方法も自治体により異なる。具体的な内容としては議員活動の範囲に関する書籍等の購入費用、民間主催の議員研修会の参加費用、先進地視察の諸費用などだが、議員活動とは直接関係ない私的支出は法令違反となる。

ただ『政務調査』に加えて、法改正で「その他の活動」にも拡大され不適切な使途が問題視されるようになった。

●大きな問題点

- ①収支報告書に領収書の添付は義務化されていない
- ②前払い方式なので年度内に使い切らないと、次の年に請求できない
- ③その他の活動に、厳格な範囲指定がなく議員の判断に委ねられている

★兵庫県議の大泣き釈明会見がきっかけになり、全国で不適切使用の議員が続出していることが判明。大事な税金が原資であることを自覚して正しく使用すれば住民の納得が頂けるのではないのでしょうか。

アンケート内容

- ①記事の中で興味を持ったもの
- ②『議会だより』の印象について
- ③「かなり良い」「おおむね良い」点
- ④「あまり良くない」「良くない」点
- ⑤表紙についての意見
- ⑥自由意見



アンケート集計

H27.12月号～H28.9月号まで

- ①予算決定、一般質問、委員会ニュース、町民の声、町政を問う
- ②「良い」という回答多数
- ③・短い文章で内容が簡明で分かりやすい
 - ・写真や図で説明し、分かりやすい
 - ・質問、回答、補足での文字の使いわけがされており、読みやすい
 - ・議員の町政への関わり方が理解できる
- ④・回答の文字が小さく、少し読みにくい
 - ・予算決算、委員会ニュース、一般・特別会計補正予算のレイアウトは混乱する
- ⑤・見出し、目次構成が分かりやすい
 - ・一家族のみの写真で飾ると、議会だよりの特徴が薄らぐ
- ⑥・町民の生の声を増やしてほしい
 - ・議会のことが話題になることがない

※モニターさんからの意見で、気になったものを次ページに掲載しています。

● 広報紙読者モニターに
毎回アンケートにお答え頂いています

町民の声

農業に思う

徳丸 農業者人

松前町在住だと言ったら、「漁師さんの町だね」と言われた。近頃は、大型商業施設の名が出る。でも何十年前には農業も元気の町であった。

12月には、近隣の田一面にレタスのトンネルが張られ波が打ち寄せるような壮観な風景が広がった。

春夏秋冬、色々な農作物がどの農地にも育てられ、どの農家も収穫、出荷にいそしんだものだ。

いつごろか、その風景も少なくなり、今では、何も植えられていない農地も目につく、農業後継者も少なく、農家も減少し、農家の収入も激減している。

国の農業政策が定まらない中、農業経営の大変な時代になった事は承知している。それでも、豊かな水、

広い平野、温暖な気候の松前町は農業に適した町であり、農業は松前町の大きな産業である。

時代に合った農業の形を農家、行政が共に協力して作り上げて頂きたい。



※モニターさんからの気になる意見

- 「医療費の無料化は」子供を持つ20代・30代には、とてもうれしい情報でした。是非、早く実現してほしい。
- 統合保育所は認定こども園として運営していただきたい。今、町立幼稚園のおかれている状況は、厳しいものがある。機会があるなら、親の意見を聞いていただきたい。

「町民の声」をお寄せ下さい

ご意見・ご要望などをお寄せください。次号議会だよりの掲載の締切りは2月末です。

(今回は3月初旬中旬の予定です。)
300字程度で必ずお名前・ご住所・ご連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。

【宛先】

松前町筒井631
議会広報常任委員会「町民の声」
Fax 985-4148
E-mail : 500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴席

議会の傍聴に行こう

北黒田 武智修一
先日、松前町議会12月定例会を傍聴しました。

当日、各議員が町民の代弁者として質問席に立っていたり、町民として期待します。議場の傍聴席にすわり、議会事務局でいただいた

一般質問一覧表のコピーを拝見しながら「地域活性化」「地域防災」「インフラ整備」「教育問題」等々公約や町民の負託に応える質疑応答を傍聴しました。

一方、部課長は若干の説明不足は否めないものの傍聴者を納得させるものであったと思います。

議会は前回の定例会に重複した同じ質問項目があったが、厳しい質問に対し、岡本町長はテキパキと答弁され非常に感心させられました。

一方、部課長は若干の説明不足は否めないものの傍聴者を納得させるものであったと思います。

議会は前回の定例会に重複した同じ質問項目があったが、厳しい質問に対し、岡本町長はテキパキと答弁され非常に感心させられました。

議会は前回の定例会に重複した同じ質問項目があったが、厳しい質問に対し、岡本町長はテキパキと答弁され非常に感心させられました。

プレスリリースより

- 競争入札の談合に関するその後の情報から
 - 事情聴取を行った入札は2件あった。結果、いずれも、談合の事実を確認できなかった。
 - 1件は入札のやり直しをして決定。もう1件は、工事中であったが調査中は中断し、その後、解除した。
- 議員全員協議会においても、報告を受けた。

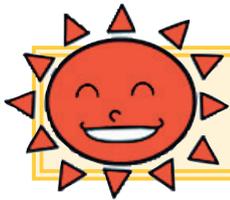
傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも傍聴できます。

ページでライブ中継を行っています。また、議会終了後、録画配信も行っています。ご覧ください。

議会は、本会議と各常任委員会に傍聴席を設けて公開しています。多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。本会議は、町ホーム





松前町で生きる & みんなで支える

お正月に飾られる「しめ縄づくり体験」講座

北公民館
老人クラブ 寿大学



お年寄りとこどもたちが
一緒になって
初めての経験

毎年恒例の「しめ縄づくり」講座が開催された。岡田地区の老人クラブ主催の伝統継承行事である。

この年一番の冷え込みとされる日、9時から既に50名以上の地域の幼児から高齢の方たちが集まっており、熱気のせいか冷えたレンズにしばらく水蒸気がつくという盛況ぶりであった。

この講座の発足期を4人ほど順送りに聞いて回り、確かなことは判明しなかったが、老人クラブ発足後間もなくだろうという推測から40年以上続いている長寿行事のようである。

70歳代のお孫さん連れの方でも、農業の経験がなく初めての経験とのこと。

「わり」を紡ぐ同時体験を通して、自然の恵みを無駄にすることなく生活に活用してきた先人の知恵を学ぶ。

「若い」「若き」が、新たな心の絆を結ぶ、そんな和みの空間を見た想いだっただ。

まちの話題

中高年の星

このほど、オーストラリアで開催された陸上の「世界マスターズ選手権大会」に初出場男子60歳・400メートル・リレーでドイツにせり勝ち、見事優勝した北川原の渡部四郎さん（61歳）にお話を聞きました。

陸上を始めたのは高校時代です。シーズン中単独でダッシュやウエイト・トレーニングを週に5日やっていたそうです。

年7〜8回の各大会に挑戦し、今回の栄冠に輝きました。

今後も体力の続く限りやっていたいとのこと。

我々も無理をせず自分の健康は自分で守るよう、スポーツに親しんでいきたいものです。



渡部さんとドイツの選手



これぞ、ゴールドメダル



緊迫するスタートダッシュ

編集後記

★新町長が誕生し早1年が過ぎます。

公約にもある子育て支援の砦ともなる松前、宗意原の統合保育所の工事が始まりです。

★秋の国体に向けてお洒落な町まさきづくりに、勢いがつくのでしょうか。

★限られた財源で最大限の効果をと、住民は期待します。それを知恵と工夫で実現化していくのが行政で、そのチェック機関が議会です。いづれも責任は重く、その動きをわかりやすくお知らせするのが議会だよりです。

★今年も干支にちなんで、皆さんのもとに記事として沢山とりあげていきます。

(藤岡 緑)

議会広報常任委員会



この広報紙は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。